真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	真岡グリーンツーリズム推進事業	担当課・係	産業部　農政課　農業振興係
政策名　No	3　「にぎわいづくり」～まちの活力アップ！～	関連するSDGs･DX	 DX
施策名　No	1　農業の振興		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	新規就農者数	人	29					35
	「日本一のいちごのまち」とイメージする市民の割合	%	77.3					70.0

事業内容

本市の魅力ある農業を最大限に活かした農業体験や農泊を通じて、都市と農村の交流を推進し、地域活性化及び本市への移住と就農につなげていく「真岡式グリーンツーリズム」を構築する。

前年度の課題（Check）

・真岡グリーンツーリズム推進協議会では、事業に意欲的な農家等（サポーター）を増やしながら、農業体験会などを開催し、裾野を広げる取組を進めているが、地域活性化（交流人口の増加）や移住・起農に繋がっている例は少ない現状にある。
・グリーンツーリズムの推進にあたり農泊の検討が必要であるが、実現には至っていない。
・インバウンド需要の増加に地域が対応できるよう、取り組みを検討する必要がある。
・現在は行政が事務局となり、行政主体での事業の企画・運営がメインとなっているが、今後は、サポーター等の実践者が主体的に事業を企画運営していく仕組み作りが必要である。
・いがしらリゾートアグリゾーン内に整備した収穫体験圃場いがしらふぁーむの有効活用のため、いがしらふぁーむを活用した事業の取り組みを検討する必要がある。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業

協議会員の「NPO法人 TSUNAGU MOKA」やサポーターの協力のもと、農業体験会を昨年度よりも回数を増やして実施するとともに、入門セミナーや新たな体験プログラムを考える研修会等の各種研修会の実施、また、農家民宿の開業に向けたセミナー、農泊先進地への視察研修等を実施し、農泊実施に向けた取り組みを推進。
グリーンツーリズムを推進していくための地域おこし協力隊のR8からの活用に向けた選考等を実施。
○農業体験会
いちごジャムづくり教室、新たまねぎ収穫体験、梨の摘果・収穫体験、国産バナナの収穫体験、国産ゴマの里親ツアーなど
○セミナー・研修等
栃木県グリーンツーリズムネットワーク主催研修会等への参加、グリツリ入門セミナー、体験プログラム企画研修会、農家民宿の基礎を学ぶ研修会等
○視察研修
グリーンツーリズム先進地視察、農泊先進地行政視察研修（福島県喜多方市）
○イベント等における農産物PR活動
いちごまつり、桶川べに花祭り、どろんこバレー、畑deキャンドルナイトBBQ in いがしらふぁーむ、いがしらリゾート秋フェス、もおかぴょんのいちごもぐもぐマルシェ
○その他の取組
SNS等によるプロモーション活動、NPO法人主催による企画及び自主事業への開催支援、農泊推進に向けた取組、インバウンド需要への対応、協議会の将来的な運営体制の検討

【2】結果と課題（Check）

・農業体験会の実施回数やもぐもぐマルシェなど新たな取組等、事業内容が年々増加し、裾野の広がりは見せているが、その分事務局である職員の負担も増えている。そのため、将来的には収益事業の一部を業務委託などによる民間への移行を検討していく必要がある。
・運営体制の民間移行に伴い、受け皿となる事業者への委託費に加え、人件費相当分についても財政協議の上、予算化していく必要がある。
・グリーンツーリズム事業で収益性を上げていくために、農泊の取組みについて、ニーズ調査や受け入れ農家の取り込みを図っていく必要がある。
・農泊の実施に向け、将来的な運営体制において施設整備や運営体制の構築などに国の交付金を活用可能か検討する必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと

サポーター等の実践者が主体的に事業を企画運営していく仕組み（事業検討会議）の創設。
収穫体験圃場いがしらファームを活用した事業の実施。

(2) 長期的な計画で検討すること

運営体制の民間移行に向け、協議会会員であるNPO法人等への意向確認および実現可能性の精査。
真岡市での農泊実施に向け、事業者の取り込みや運営方法などを検討する。